

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第69代 副議長
いしむ ゆう
石井 勇



第67代 議長
やまぐち あきひろ
山口 栄作

議長・副議長よりご挨拶
市民の皆さまには、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、令和元年12月定例会におきまして、新たに石井勇副議長が就任いたしました。私たち両名は互いに協力しながら、議決機関である議会が果たす役割を改めて認識し、その職責を全うしてまいる所存です。

さて、本市議会では、平成30年12月に議長の諮問機関として松戸市議会活性化検討協議会を設置し、議会改革の推進に向けた議論を進めております。
平成21年4月に松戸市議会基本条例を制定してから10年余り、これまでも市民の皆さまの福祉向上を目指し不断の努力を重ねてまいりました。
平成から令和へと時代が変わり、議会も時代に応じた変化が求められていると感じております。今後も市民の皆さまの声を真摯に受け止めながら、様々なニーズに対応した開かれた議会のさらなる実現に向けて鋭意努力してまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

松戸市手話言語条例を制定 手話は言語の1つである ～手話であいさつしてみませんか～



議場の傍聴席における手話通訳者の様子



「障害のある人もない人も共に暮らし、尊重し合うことができる共生社会の実現」を目指すことを目的とした松戸市手話言語条例が、令和元年12月25日から施行されました。

●問い合わせ先 障害福祉課 TEL 047(366)7348

市議会トピックス
議案第41号の審査から

令和元年度松戸市一般会計補正予算(第3回)を可決
債務負担行為を追加し期間と限度額を設定

- 管理代行業務(稔台市民センター) 令和元年度～3年度 6380万2千円
- 管理代行業務(市民交流会館) 令和元年度～6年度 2億4033万9千円

※詳細は3面「委員会の審査から」に記載しています。

12月定例会

令和元年12月定例会を12月4日から12月20日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された専決処分1件の報告を承認しました。

このほか市長から提出された条例などの一般議案13件を、市民の方等から提出された陳情1件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された監査委員の選任議案1件、議員提出議案8件を上程し採決しました。また副議長選挙、建設経済常任委員長の互選を行いました。
(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)

なお34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

インターネット議会中継

会議名から選ぶ
ライブ中継
議員名から選ぶ

ライブ中継は、本会議開始から終了まで議場の様子を放映します。本会議開催日の翌日夜からは、録画を視聴できます。
インターネット放映アクセス件数 45万1504件
(平成17年6月開設～令和元年12月末)

会議録検索

松戸市議会
会議録検索システム

ご覧になる会議名や開催年も、一頁

最新の本会議

- 令和 1年 9月 定例会
- 令和 1年 6月 定例会

市議会の公式記録として、本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会の会議録を公開しています。

12月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案									
第40号	専決処分の報告及び承認（松戸市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定） 松戸都市計画八ヶ崎二丁目地区地区計画における建築物の用途の制限の対象施設から、大規模小売店舗内の遊技設備設置施設を除外するため。	-	承認	多数意見	第50号	市道路線の廃止及び認定 開発行為による道路の帰属等に伴い、市道路線の整備を行うため。	建設経済	可決	全会一致
第41号	令和元年度松戸市一般会計補正予算（第3回） 管理代行業務として（稔台市民センター）及び（市民交流会館）は、管理代行業務の契約更新に伴い、引き続き、安定した運営を確保するため、債務負担行為を追加し、期間と限度額を設定するもの。	総務財務	可決	全会一致	第51号	千葉県と松戸市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議 千葉県給水区域の公共下水道使用料徴収業務を、千葉県に委託することにより、上下水道料金の徴収一元化を実施し、市民の利便性を向上させるとともに、事務の効率化、経費の削減及び収納率の向上を図るため。	建設経済	同意	全会一致
第42号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定 クリーンセンター焼却施設の稼働停止に伴い、同センターの温水プールを閉鎖するため。	教育環境	可決	全会一致	第52号	指定管理者の指定（松戸市稔台市民センター） 松戸市稔台市民センターの指定管理者の指定期間が令和2年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致
第43号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 病院事業における職員の定数を増員し、医療提供体制の更なる充実を図るため。	健康福祉	可決	全会一致	第53号	指定管理者の指定（松戸市市民交流会館） 松戸市市民交流会館の指定管理者の指定期間が令和2年7月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致
第44号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	第54号	監査委員の選任（二階堂剛） 市議会議員のうちから選任した監査委員が欠員となり、後任者を選任するため。	-	同意	全会一致
第45号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市長、副市長等の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	議員提出議案				
第46号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員の給与改定に準じ、俸給月額、住居手当及び勤勉手当の額の改定を行う等するため。	総務財務	可決	全会一致	第14号	消費税を減税するよう求める意見書	-	否決	多数意見
第47号	松戸市手話言語条例の制定 手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及及び手話に対する理解の促進を図ることにより、障害のある人もない人も共に暮らし、尊重し合うことができる共生社会の実現を目指すため。	健康福祉	可決	全会一致	第15号	「土砂災害警戒区域」の早期の指定完了と急傾斜地崩壊対策事業に係る予算を増額するよう求める意見書	-	否決	多数意見
第48号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 松戸市立総合医療センターの放射線科を細分化し、受診者に分かり易い診療科目にするるとともに、議会の議決を要する病院事業の業務に関する損害賠償の額の決定に係る上限額を引き上げるため。	健康福祉	可決	全会一致	第16号	生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書	-	否決	多数意見
第49号	契約の締結（(仮称)松戸市リサイクルプラザ建設工事） 粗大ごみ等の処理の効率化及び老朽化した資源リサイクルセンターの一部機能の移転を目的として、（仮称）松戸市リサイクルプラザを建設するため。	教育環境	同意	全会一致	第17号	被災者生活再建支援法の抜本的改正を求める意見書	-	否決	多数意見
					第18号	選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書	-	可決	多数意見
					第19号	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	-	可決	多数意見
					第20号	令和元年台風15号及び19号等からの復旧・復興に向けた支援を求める意見書	-	可決	全会一致
					第21号	気候危機・気候非常事態を前提とした地球温暖化対策のさらなる強化を求める意見書	-	可決	全会一致
					陳情				
					第5号	松戸市立総合医療センターの精神科外来再開を求める陳情	健康福祉	不採択	多数意見

会派別一覧

会派構成に変更がありました。
松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

松政クラブ 13人
◎ 木村みね子
○ 桜井 秀三
○ 鷹野 聡
○ 中村 典子
○ 大塚 健児
○ 大谷 茂範
○ 大橋 博
○ 鈴木 大介
○ 石井 勇
○ 箕輪 信矢
○ 杉山 由祥
○ 田居 照康
○ 小沢 曉民

公明党 10人
◎ 城所 正美
○ 諸角 由美
○ 篠田 哲弥
○ 鈴木 智明
○ 松尾 尚
○ 岩瀬 麻理
○ 高橋 伸之
○ 伊東 英一
○ 飯箸 公明
○ 織原 正幸

政策実行フォーラム 8人
◎ D E L I ※
○ 増田 薫 ※
○ 成島 良太
○ 岡本 優子
○ 戸張 友子
○ 関根ジロー
○ 原 裕二
○ 二階堂 剛

市民クラブ 7人
◎ 末松 裕人
○ 市川 恵一
○ 渋谷 剛士
○ 岩堀 研嗣
○ 山口 栄作
○ 深山 能一
○ 中川 英孝

日本共産党 4人
◎ 宇津野史行
○ 平田きよみ
○ ミール計恵
○ 山口 正子

議員定数 44人

- ◎ 幹事長
- 副幹事長
- ※ 新たな幹事長・副幹事長

無所属
○ 中西 香澄

無所属
○ 山中 啓之

(令和元年12月3日現在)

委員会の審査から

12月13日・16日・17日・18日に各常任委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。(審議結果は2面に掲載)

総務財務常任委員会

議案第41号 令和元年度松戸市一般会計補正予算(第3回)について

問 管理代行業務の債務負担行為額について、総台市民センターの指定管理者は随意指定であるが、金額の妥当性をどのように判断したか。

答 2者の民間事業者から総台市民センターの管理業務について見積りを徴した。この見積りのうち、1者の見積り額は安価であったが金額差は僅差であり、債務負担行為額は割高ではないと考えている。

議案第46号 松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 条例改正により期末勤勉手当

が0.05カ月引き上げられるとのことだが、平成元年以降の最大支給割合や支給割合の推移は。

答 人事院勧告に基づく期末勤勉手当の支給割合について、平成元年以降で最大月数は3年度と4年度の5.45カ月であった。また支給割合の推移については3年度と4年度以降年々引き下げとなり、22年度から25年度までの期間で3.95カ月となり最低月数となった。その後は26年度に4.1カ月に引き上げられてから毎年度引き上げられており、今回、令和元年度の改正により6年連続の引き上げとなった。

問 期末勤勉手当の支給割合は人事院勧告以外の理由で変更されたことがあるのか。

答 本市においては人事院勧告、また千葉県人事委員会勧告に基づき改正を行っている。

健康福祉常任委員会

議案第47号 松戸市手話言語条例の制定について

問 国に対し手話言語法制定を求めることが、今回の手話言語条例制定の目的の一つであるが、本市としてどのような取り組みが必要なのか。

答 手話に対する理解および手話普及の周知啓発を促進することにより、手話言語条例を制定した各自自治体とともに手話言語法制定に向けて協力することが条例制定の目的と考えている。千葉県および県内5市が条例を制定したことにより、手話言語法制定へのさらなる機運の高まりにつながるものと捉えている。また手話言語法が制定されることで、手話が言語であるということが人々に理解、認識され、手話を利用しやす

い環境になるものと考えている。

議案第48号 松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 総合医療センターの放射線科を放射線診断科と放射線治療科に細分化することだが、放射線治療科の具体的な診療内容は。

答 放射線治療科の具体的な診療内容は、悪性腫瘍に対し腫瘍の縮小や、がんの痛みを取り除くことなどを目的に放射線を照射する治療を行うものである。総合医療センターは高精度な放射線治療装置を導入しており、放射線治療の対象となるほとんどの患者への治療が可能となる。放射線治療科を設置することで、より専門性を高めてがん治療が行えることを標榜するとともに、受診者に分かりやすい診療科目に改めるものである。

教育環境常任委員会

議案第49号 契約の締結について(仮称)松戸市リサイクルプラザ建設工事

問 ごみ運搬車両等による周辺生活道路への影響について伺う。

答 周辺環境対策として、事業者提案では、施設外に車両が滞留しないよう場内に持ち込み車両スペースを約61台分用意している。また市委託のごみ運搬車両に、周辺の幹線道路および搬入路以外の走行を禁止、その旨を一般市民に、広報等により周知を図っていく。なお工事期間中は、搬入路に警備員を配置する等、安全性に十分配慮した上で、契約業者だけでなく、下請け事業者にも周知徹底を図っていく。

議案第52号 指定管理者の指定につ

いて(松戸市総台市民センター) 市内で唯一、連合町会が指定管理を行っている好事例と評価するが、連合町会の高齢化について、市はどのように支援していくのか。また自主事業が課題となっているが、今後の予定を伺う。

答 現時点で運営に支障はないが、運営の中核を担う方々の高齢化や新たな人材確保は課題の一つであると認識している。市民活動サポートセンターで実施している「地域活躍塾」の修了生の紹介や「キーパーソン養成講座」の案内等、人材育成の支援を行っていきたいと考えている。また自主事業については、バルーンアート教室の実施が決定し、令和2年度には、子どもを対象にした事業や防災の事業を検討していることである。

建設経済常任委員会

議案第50号 市道路線の廃止及び認定について

問 市道が増えることによるメリットとデメリットについて伺う。

答 メリットは市民が日常利用する交通路線が増えることにより、生活の足が円滑化することと考える。デメリットとしては、安全かつ高い利便性の下で利用いただくために、陥没や劣化等に対する維持管理費が発生することが考えられる。

議案第51号 千葉県と松戸市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議について

問 上下水道料金の徴収一元化による経費削減を、具体的にどう見込んでいるか。

答 平成30年度決算との比較で削減されるものは、徴収委託料単価、コンビニ収納委託に係る経費、下水道検針データの賃借料がある。一方システム改修費等の初期費用、一元化前の債権管理に係る業務委託料等の経費が発生するが、一元化後の初年度にあたる令和3年度は約3千万円の削減が見込まれる。

問 徴収一元化は既に第一期が実施済みであり、本市は第二期からの実施となるが、第一期での実施を見送った理由について伺う。

答 徴収一元化は、千葉県水道局給水区域の11市と県との12団体で平成24年度から協議を進めてきた。当時、県が示した委託単価では、本市においては一元化後も市で行う債権管理に係る費用等を考慮すると、経費は削減されず増えるの見込まれたため、第一期での実施は見送った。

委員会名簿

委員会構成に変更がありました。

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会
委員長 市川 恵一 副委員長 岩瀬 麻理 委員 大谷 茂範 委員 関根 ジロー 委員 伊東 英一 委員 宇津野 史行 委員 桜井 秀三 委員 二階堂 剛 委員 城所 正美 委員 中川 英孝 委員 田居 照康	委員長 岩堀 研嗣 副委員長 鈴木 智明 委員 中村 典子 委員 成島 良太 委員 大塚 健児 委員 山口 正子 委員 大橋 博 委員 原 裕二 委員 鈴木 大介 委員 諸角 由美 委員 深山 能一	委員長 高橋 伸之 副委員長 箕輪 信矢 委員 中西 香澄 委員 戸張 友子 委員 DE LI 委員 篠田 哲弥 委員 平田 きよみ 委員 飯箸 公明 委員 木村 みね子 委員 末松 裕人 委員 小沢 暁	委員長 杉山 由祥※ 副委員長 松尾 尚 委員 ミール 計恵 委員 鷹野 聡 委員 岡本 優子 委員 増田 薫 委員 石井 勇 委員 山中 啓之 委員 織原 正幸 委員 渋谷 剛士 委員 山口 栄作	委員長 城所 正美 副委員長 渋谷 剛士※ 委員 DE LI 委員 大谷 茂範 委員 伊東 英一 委員 箕輪 信矢 委員 飯箸 公明 委員 木村 みね子 委員 宇津野 史行 委員 桜井 秀三 委員 二階堂 剛 委員 末松 裕人

(令和元年12月20日現在)

※新たな委員長

(令和元年12月3日現在)

※変更があった委員

一般質問

12月定例会では、12月5日・6日・9日・10日・11日の5日間にわたり、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

自然災害に対する安全・安心対策について

無所属

山中 啓之

問 令和元年初の一連の台風や大雨への対応について、反省点の総括と市民の声に基づき改善したことについて伺う。

答 避難所の開設状況や避難勧告等の情報についての問い合わせが多くあり、市民への情報

伝達を反省点と認識している。市民からは「近くの避難所を開けてほしい」「防災無線が聞こえづらい」等の意見があり、内容を精査し今後の防災対策の参考にしていく。現在取り組んでいる改善点としては、避難所とわかる看板の設置、さらなる情報伝達手段の検討、ペット同行避難に関する関係課との協議を行っている。



東松戸駅周辺道路の安全対策について

公明党

鈴木 智明

問 東松戸駅と松飛台駅を結ぶ抜け道である通称「蛇道」の安全対策について伺う。

答 当該道路は、市街化調整区域を通過し、道路境界が確定されておらず、舗装幅も狭くカーブも多い道路である。安全対

策として、未舗装部分の舗装整備や、防護柵等の設置による歩行者空間の確保が有効と考えている。そのため道路整備を目的とした道路境界の確定業務を計画的に実施しており、令和元年度中に全路線約800mの道路境界が確定する見込みである。今後歩行者等の安全確保に即効性のある区間から計画的に整備を進め、引き続き、交通管理者である千葉県警察と連携を図り、地域の安全確保に努めていく。

防災対策のさらなる充実について

公明党

岩瀬 麻理

問 避難対象地区の選定や避難勧告等の発令を段階的に判断できる基準の見直しなど検討を行うとのことだったが、国道6号より西側地域(新松戸・栄町・古ヶ崎)の広域避難の検討状況は。また地域防災計画の改定に

おいて広域避難の在り方を盛り込むべきと考えるが市の見解は。答 平成27年度に地域防災計画の修正を行い、資料編では災害種類ごとの避難所一覧を記載している。国道6号より西側地域の浸水想定エリアは、水位などにより段階的に避難勧告等を発令していく。また常磐線より西側の市民を避難させる方法は、重要な課題であると認識しており、地域防災計画の修正において、今後、調査・研究していく。

公立小中学校における外国人児童生徒への学習支援について

政策実行フォーラム

成島 良太

問 日本語が不自由な外国人児童生徒に対して、どのような学習支援を行っているか伺う。

答 日本語指導が必要な児童生徒に日本語指導と並行して学習支援を行っている。小学校では友達と一緒に学び合い、担任

の個別指導による学習支援を行い、中学校では英語が話せる生徒には英語科教員が支援する他、日本語指導支援スタッフが高校受験に向け作文指導等を行う。その他教育委員会ではNPO団体開催の進路ガイダンスへの協力や編入手続きの際、外国人児童生徒の保護者に対し学習支援を行うNPO法人のパンフレットを配布している。今後も各学校の工夫を支援し、外部団体と連携し学習支援を充実させたい。

東京デイズ二りゾート行き高速バスについて

政策実行フォーラム

関根 ジロー

問 松戸駅西口9番乗り場の新設された羽田空港行きおよび東京デイズ二りゾート行きのバス停に屋根の設置はできないか。また他の事業者の参入等による今後の増便の可能性を伺う。

答 バス事業者も大きな荷物を持った利用者が多いことから、上屋の必要性については、十分に認識しており、今後、現地調査を行い、地下埋設物等の制約条件を整理した後、設置に向けて道路管理者である千葉県と協議していくとのことである。また増便については、運行しているバス事業者と協議を続けており、今後、利用状況や羽田空港および東京デイズ二りゾート側の調整をしながら検討していくとのことである。

防災・減災について

公明党

篠田 哲弥

問 台風等の際は防災行政無線の内容が聞き取れず、内容を確認するフリーダイヤルもつながりにくい状況となることがある。補完手段として、茨城県取手市が導入したポケットベルの周波数を用いた防災ラジオの有

償貸与を行う考えについて伺う。答 防災行政無線の放送の補完手段として、市ホームページ、ツイッター等で情報発信する他、放送内容を室内専用端末で再送信する有償のサービスの周知にも努めている。ポケットベルの周波数帯を利用する防災ラジオについては、導入している自治体の調査等を進めていきたい。併せて、パートナー講座等の機会を通じて、現行の情報伝達手段のさらなる周知に努めていく。

矢切の渡しの今後について

市民クラブ

深山 能一

問 台風19号による矢切の渡しの被害を市はどのように認識し対応するのか。また今後の在り方について見解を伺う。

答 矢切の渡しは、有限会社矢切渡船が営業している。本市は船着き場の通路部分の占用許

可を受け駐車場を整備するなど、官民一体となって観光資源の保全に努めてきた。このたびの台風19号による被害は衝撃的であったが、今後も災害に見舞われるであろうことを考えると、現在の運営形態では限界もあると認識している。今後、矢切地区風致保存会等と協力体制を構築し調整を進めていく。矢切の渡しは、本市を代表する観光資源の一つであり、市民が誇れる財産として残していきたい。

市街化調整区域内におけるマンホールトイレの整備は

松政クラブ

鈴木 大介

問 市街化調整区域内における、小中学校のマンホールトイレ整備の進捗状況について伺う。

答 市街化調整区域内の第五中学校を含めた13校は、下水道事業認可区域外であるため国の交付金事業の対象ではなかった。

そこで本市では、全ての公立小中学校にマンホールトイレを整備する必要があるとの認識から、千葉県とともに整備を推進するため国との協議を重ねた結果、市街化調整区域内の学校でも国の交付金事業の対象とする回答が得られ、継続しマンホールトイレの整備ができる見込みとなった。今後は、第五中学校等を含む「松戸市下水道総合地震対策計画」に変更し、マンホールトイレの整備を進めていく。

ホームドアについて

松政クラブ

大塚 健児

問 JR各駅のホームドアの設置について、新設工事を行う駅等、今後の計画について伺う。

答 JR東日本から常磐緩行線のホームドア先行整備方針が示され、令和元年度より北松戸・馬橋・新松戸・北小金の各

駅で準備工事が着手されており、3年度に使用開始の予定である。松戸駅は制約が多く整備に時間を要し、6年度の使用開始に向け調整中とのことである。また常磐快速線や武蔵野線のホームドアは14年度末頃までの整備方針が示されているが、早期整備に向け、千葉県や関係自治体で構成される期成同盟等を通じて、JR東日本に要望を継続していく。



都市農地と福祉事業の連携について

公明党

諸角 由美

問 松戸市都市農業振興計画が策定され福祉事業との連携が検討段階とのことだが、農福連携事業の計画について伺う。

答 これまでに実施した具体的な取り組みは「全国ねぎサミット2019 inまつど」の記

念品のねぎ束の作成や、梨農家との連携で台風後の落果した梨の袋を拾う作業である。今後、堆肥に利用可能な剪定した枝を拾う作業等、生産過程に必要な業務を予定している。都市農業には、心やすらぐ緑地空間としての役割があることから、経済農政部門と福祉部門が連携を図り、社会福祉事業への貢献について検討しながら引き続き取り組んでいく。



障がい者が暮らしやすい社会を目指して

公明党

飯箸 公明

問 東京都町田市では、災害時に身に着けることで周囲に障害の有無を知らせ、避難支援を受けやすくする「障がい者支援バンダナ」を配布している。本市でも配布する考えは。

答 本市でも手話サークルが

聴覚障害者関係団体にバンダナを配布しており、当事者、関係団体の取り組みからも支援、配慮が必要なことを視認できる道具は、障害をお持ちの方にとって必需品であり、バンダナ等は有効であると確認される。当事者、関係団体と協議を重ね、要望や課題を集約した上で、より良い施策を検討していく。



町田市の災害時等障がい者支援バンダナ

誰もが快適で安全に利用できる公園について

無所属

中西 香澄

問 21世紀の森と広場への新しい遊び場の導入をきっかけにインクルーシブな公園として整備できないか。また他の地域公園等の再整備にインクルーシブな配慮を取り入れる考えは。

答 21世紀の森と広場では、

全ての遊具を車椅子でも利用可能にすることは困難だが、誰もが一緒に遊べるよう配慮していく。またインクルーシブな公園として、あらゆる人が見え合い楽しめるレクリエーションの場となるようワークショップなどでその概念や実例を紹介するなど、今後の整備に生かしていきたい。しかしながら導入実績がまだ少ないため、専門家の意見を聞いたり実例の視察を行うなど調査していく。

高齢者のフレイル対策について

公明党

松尾 尚

問 高齢者のフレイル対策で活用する質問票を65歳から実施しては。またアウトリーチで高齢者の健康状態を多目的に捉え、フレイルの可能性がある高齢者に対し、本市としてどのような対策を考えているか伺う。

答 フレイルは加齢により心身の活力が低下し介護が必要になる前の状態を指し、適切な支援により生活機能の維持向上が可能とされていることから、本市でも65歳以上の高齢者に拡大することは本事業の効果的な推進の足掛かりと考えている。対策としては、保健師等が質問票を活用しフレイルの可能性が高い方に対しアウトリーチを行い、今後も医師会等と連携を図り事業の推進に向け取り組んでいく。

高齢化したペット対策について

松政クラブ

木村 みね子

問 人間の高齢化と同時にペットの高齢化も進むが、この高齢化したペット対策の考えは。

答 ペットの寿命が延び、飼い主がペットと共に年齢を重ね飼養が困難になるといった課題はペットとの共生に関する重要

なテーマの一つであると認識している。また動物愛護管理法により動物の飼い主はその動物が命を終えるまで適正に飼養する「終生飼養」の務めがあり、終生飼養が困難な方の受け皿施設として「老犬ホーム」が大きな役割を担うことも認識している。今後ペット業界や関係機関と協力しながら研究し、人とペットが共生し快適に暮らせる社会の実現につなげたい。



DV等支援措置について

政策実行フォーラム

岡本 優子

問 本市の住民基本台帳事務における支援措置の実施状況は。また自治体内外での連携および情報共有について伺う。

答 市民課では、支援措置担当者や配置し、制度の相談等、管理業務を一元的に行っている。

住民票等による情報漏えいの対策では、窓口で本人確認を徹底し直接渡している。庁外とは、相談の事実を確認した上で、支援期間や被害の状況等の共有を行っている。また庁内関係部署へは支援措置対象者の情報を提供し、運用するシステムで情報を管理し漏えい対策を講じている。本市では、被害者の方の情報が漏れてしまう事象は発生していないが、引き続き情報の厳格な管理を徹底していく。

犬のしつけ教室をより充実した取り組みに

公明党

高橋 伸之

問 犬のしつけ教室をより実効性のあるものとするため、飼い犬を同伴し屋外で実施する考えについて伺う。

答 犬のしつけ教室はこれまで、内容や実施する上での環境面等を考慮し、公共施設の屋内

で開催してきた。正しいしつけに結びつく内容の充実が必要であり、飼い犬同伴での参加は、しつけ方を身をもって体験できる貴重な機会になると考える。実現には、多くのペットが入場可能な会場の確保、安全に運営できる体制づくり等の課題もあるが、飼い犬同伴で多くの方が参加できるしつけ教室の実現に向け検討していきたい。



子どもの読書活動推進について

公明党

城所 正美

問 知的書評合戦ビブリオバトル実施の現状と今後について伺う。

答 ビブリオバトルは、小学生から大人まで誰でも参加できるゲーム感覚を取り入れた本を紹介しあう書評合戦である。現

在、中学校3年生の国語の教科書で、これまでの読書生活を踏まえ、自分の選んだ本を相手に紹介する学習として扱っており、令和元年度は、市立図書館主催で中学生が小学生に薦めたい本を紹介するビブリオバトルを実施している。ビブリオバトルは、国語科で学んだことを全て活用することが可能な活動で、今後も、学校と図書館で連携しながら、活動を推進していきたいと考えている。

自治体が行う地球温暖化対策
について

政策実行フォーラム

増田 薫

問 地球温暖化対策への市の取り組み状況について伺う。

答 松戸市地球温暖化対策実行計画に基づき施策を進めている。地球温暖化対策への醸成、啓発のため市施設に緑のカーテンを設置。住宅に対しては、太

陽光発電システム等の補助。自動車に対しては、環境に配慮した電気自動車等への補助金交付。国が進める地球温暖化対策「クールチョイス」に賛同し、国や千葉県と連携し対策に取り組んでいる。地球温暖化の問題は短期間で簡単に結果がでるものではない。一人一人が地球環境への意識を持ち、継続的に取り組まなければ解決できない。今後意識啓発や省エネルギー等の普及促進に取り組んでいく。

糖尿病重症化予防への
取り組みについて

公明党

織原 正幸

問 特定健康診査の未受診者で糖尿病の治療中断者への受診勧奨はどうなっているのか伺う。

答 特定健康診査が未受診で糖尿病の治療を中断している方に対して、まずは特定健康診査を受診していただくことを優先

しており、現状では、はがきを送付し受診勧奨を行っている。しかしながら治療中断者に糖尿病治療の再開を勧めることは、重症化予防において重要であると考えており、特定健康診査未受診者のうち、過去5年間に糖尿病の治療歴があり、直近1年間に医療機関を受診していない方に対する受診勧奨を、令和元年度は試行的に優先順位の高い方へ順次行った上で、2年度から本格的に実施する予定である。

馬橋駅西口駐輪場の
スペース拡大を

政策実行フォーラム

戸張 友子

問 馬橋駅西口の駐輪場は、新松戸駅西口に比べると一時使用の台数が圧倒的に少ない。市民から駅直近に駐輪場を望む声も多いことから、駐輪場スペース拡大の考えはあるか伺う。

答 駅直近にある市営の馬橋

駅西口自転車駐車場では、多くの定期利用希望者が待機している状況である。本市としても駅直近に新しく駐輪場を増やす必要性を認識しており、買い物等利用者の放置対策として、令和2年度、新たに短時間無料制による約120台規模の機械式駐輪場の整備を予定している。また民間事業者による駐輪場設置の促進を図るため、元年5月1日付で、補助金制度の拡充および要件の緩和を実施した。

専門職の採用について

政策実行フォーラム

DELLI

問 令和元年9月定例会では、現在図書館限定の専門職として司書の採用はしていないが、経験豊富な司書の必要性は認識しており、今後関係各課と協議していくとのことだったが、その後の進捗について伺う。

答 今般、教育委員会より正式に正規職員の専門職として司書を採用するよう要望があった。現在の図書館は若手職員中心の体制であることから、2年度の民間企業等職務経験者採用試験で実施できるよう準備を進めている。民間企業等職務経験者採用試験は、受験する年度に30歳以上59歳以下である方が対象となるため、現在不足している経験豊富な職員を確保したいと考えている。

旧市立病院跡地売却
について

松政クラブ

小沢 暁民

問 旧市立病院跡地売却の進捗状況が見えないが、今後のスケジュールについて伺う。

答 売却対象不動産のうち、旧第1駐車場・旧第4駐車場の一部のさら地2カ所は、一般競争入札に付し公有財産売買契約

を締結している。旧病院本体は土地・建物を一括で売却すべくまい進しているが、令和元年10月下旬に予定していたプロポーザルの公募公告が遅れている。今後の予定は2年3月上旬にプロポーザルの公募公告、9月下旬には契約ができるよう業務を精査している。地元への配慮や公平性を考慮し、できる限り高額で売却できる工夫としての競争性を兼ね備えたプロポーザルになるよう十分に配慮していく。

下総基地における自衛隊等の
活動に関する市との情報共有は

日本共産党

ニール 計恵

問 下総基地から自衛隊等の活動に関する情報提供はあったのか。また市民の安全や環境を守るため、今後の情報提供をどのように行っていくのか伺う。

答 海上自衛隊下総飛行場からは一週間に1回程度、同飛行

場の航空機飛行に関する訓練スケジュールの予定が、本市をはじめ柏市や鎌ヶ谷市など近隣11市にファクシミリで送信されてくる。内容は、飛行する機種、数、時間帯が記載されている。本市では、市民の方から自衛隊機に関する騒音の相談があった際に使用するものと認識している。また今後の情報提供については、本市を取り巻く情勢を見ながら近隣市の状況等を踏まえ、必要に応じて対応していく。

医療的ケア児の子育て支援
について

日本共産党

山口 正子

問 医療的ケア児の保育施設への入所決定の判断やケアの実施計画書の作成に関するマニュアルはあるか。また医療的ケア児の保育施設受け入れに関する今後の課題について伺う。

答 医療的ケア児の保育施設

への入所については「松戸市医療的ケア児保育実施要領」に沿って協議を行い、主治医をはじめ、家族、実施施設の関係者で、手技や緊急時の対応を確認し、受け入れの判断を行っている。また今後の課題としては、医療的ケアを行う看護師の人材確保が難しく、受け入れ可能となる施設が増えてこない現状がある。今後も「松戸市医療的ケア児の支援のための連携推進会議」の中で課題を共有していきたい。

再生可能エネルギー等活用の
具体的な取り組みについて

政策実行フォーラム

原 裕二

問 再生エネルギー等の活用を推奨するならば、現在計画中の(仮称)東松戸複合施設で太陽光発電設備の導入がより現実的な手段と考えるが、市の見解と想定される最大パネル容量は。

答 (仮称)東松戸複合施設

における環境への配慮として、LED照明や高効率設備機器の採用と併せ、再生可能エネルギーの活用を検討しており、環境負荷軽減に配慮した設計を行っている。太陽光パネル等の容量は、設置によってもたらされる荷重や他の機器に対するメンテナンスのしやすさ、さらに年間を通じた発電量や設置後のメンテナンスの手法、機器の交換等、効率的かつ効果的なものとなるよう計画を進めている。

市営庭球場の利用について

日本共産党

平田 きよみ

問 市営庭球場の利用の原則は。また特定の団体による優先的利用について、その有無と経緯、他市の状況を伺う。

答 教育委員会で管理する庭球場は原則、個人と団体の専用利用に分けている。個人の予約

はインターネットで申し込み、予約が多い場合は抽選で確定する。団体は年間計画を各団体同士で協議し確定する。団体利用の方法は、建設当時コートメンテナンス等を利用条件に実施した経緯がある。予約システム導入前は団体所属の方も個人として申し込みできたが、導入により個人枠ではできない方式とした。また導入時の運用に関する他市の状況は、団体に対する利用方法は確認できなかった。

送迎保育ステーションの現状と今後の拡大について

政策実行フォーラム
二階堂 剛

問 送迎保育ステーションの現状と今後の拡大状況について伺う。

答 本市では保育需要の高い1歳、2歳児への対応として小規模保育施設の整備を進め、3歳児以降は幼稚園の預かり保育

を拡充し、保育園だけでなく幼稚園の利用を促進している。送迎保育ステーションは、駅前の小規模保育施設卒園後に、生活パターンを変えずに幼稚園に通うことができることから、利用者も年々増えている。現在松戸駅前、新松戸駅前に整備しており、令和2年度からは、新八柱駅、東松戸駅にも開設する。今後は保護者の利用状況や幼稚園での実施体制などを考慮し、松戸駅周辺も含め整備を進めたい。

市役所新築移転について

松政クラブ
桜井 秀三

問 市役所新築移転について①国有地の払い下げは決まったか②なぜ土地取得に時間がかかっているのか③土地の取得価格は④周辺権利者・関係機関との話し合いは進んでいるか⑤駐車場スペースは万全なのか伺う。

答 ①国有地の取得は国有財産関東地方審議会に土地利用計画に同意をもらう必要がある②現在、新拠点ゾーン整備基本計画(案)の策定中である③時価売り払いにて財産処分されるため不動産鑑定を行い国との見積もり合わせにより適切な価格で購入する④新拠点ゾーンへの歩行者動線を確保するため意見交換を深めている⑤導入する施設・規模は決まっていないが、必要な台数を確保していく。

組織体制について

松政クラブ
大橋 博

問 次期総合計画の策定に合わせた新しい組織体制を構築する必要性があると考えますが、市の見解を伺う。

答 次期総合計画については令和3年度開始を目指しており、計画に掲げられた政策を効率的

に推進し実現させる体制を整えていくことが肝要と認識している。次期総合計画策定のタイミングは、組織体制の見直しの一つの契機と認識しており「松戸市組織再編成方針」を策定し、3年度に向けた組織の再編成について検討検証を開始したところである。市民ニーズや行政課題等を適切に対応できる体制を構築すべく、関係部署と協議・連携しながら組織体制の検討を行っている。

新松戸駅東側まちづくりについて

市民クラブ
渋谷 剛士

問 新松戸駅東側地区土地地区画整理事業の事業認可後、地権者説明会等の実施状況および地権者から出された意見は。また今後のスケジュールを伺う。

答 地権者への対応として、令和元年8月から11月末までに、街づくりニュースの発行が3回、地権者説明会・個別訪問・地権者意見交換会を各1回実施し、意見として「減歩率の説明を改めて伺いたい」「早く事業を進めてほしい」等があった。今後のスケジュールは、地権者説明会を開催し物件補償調査などの説明を行うとともに、個別訪問を実施する。今後地権者の皆さまに対し、概算補償費や生活再建の提案等を行い、仮申出を行っていたと予定である。

北総線の運賃引き下げについて

日本共産党
宇津野 史行

問 北総線沿線地域活性化協議会において運賃引き下げの議論をすべきではないか。また運賃引き下げに向け積極的な役割を果たす考えはあるのか伺う。

答 当該協議会は千葉県、北総線沿線6市および北総鉄道で

構成され、沿線市の活性化を目的とし、運賃に関して協議・要望する場としては設定されていない。また北総線の運賃引き下げは、利用者からすると運賃は高いとの認識はあるが、北総鉄道からは線路損失の解消が最優先の課題との見解が示されている。本市としても線路損失の解消は運賃引き下げを検討する契機になると認識しており、引き続き、千葉県等と情報共有を図り経営状況を注視していく。

幼児教育の推進について

市民クラブ
岩堀 研嗣

問 将来を託せる人材を育成するため幼児教育の推進における取り組みについて伺う。

答 幼児期の教育は、人間としての基礎的な土台を作り上げる上でも重要なものであり、能力を伸ばす環境を整えることが

大切であると考えている。そのため取り組みとして、幼稚園、保育所(園)、小学校の相互理解と連携のために教育委員会子ども部が定期的に「幼保小庁内連携会議」を開催している。また地域ごとに幼保小それぞれの施設職員が「情報交換会」を開催している。さらに地域での幼稚園・保育施設と小学校との交流等において、その効果や課題を検証し、情報を共有しながら連携強化を図っている。

病院事業の経営について

松政クラブ
鴈野 聡

問 病院事業の経営改善に向け、政策的医療と一般的医療の採算性を把握するための管理会計を早急に導入するよう要望していたが、導入の見解を伺う。

答 病院事業では第二次経営計画に基づき、経営管理、経営改善を進めている。毎月経営会議を開催し、公認会計士の指導を受け、執行状況および予算計画の進捗率等分析した報告をしており、管理会計的な手法を取り入れたものと考えている。管理会計の全面的な導入は、まだ課題も多く、それらの課題は既に導入した国立大病院においても、管理会計が十分に機能せず、目的を果たしていない一因とされている。導入の是非は研究の時間が必要と思慮している。

ちょっと一息 シティー・ミニコンサートにお越しになりませんか

市議会の議場でシティー・ミニコンサートを毎月開催しています。お昼のひとつ、ゆっくりと音楽をお楽しみください。



次回は2月19日(水)12時15分~45分(予定) 皆さまのお越しをお待ちしています

3月定例会の開催予定

令和2年松戸市議会3月定例会は、2月25日(火)から3月25日(水)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、2月13日(木)正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月25日(火)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
26日(水)	常任委員会(先議議案審査)
3月2日(月)	本会議(先議議案採決)
3日(火)	〃 (一般質問)
4日(水)	〃 (一般質問)
5日(木)	〃 (一般質問・議案質疑)
6日(金)	総務財務常任委員会
10日(火)	健康福祉常任委員会
11日(水)	教育環境常任委員会
13日(金)	建設経済常任委員会
16日(月)	予算審査特別委員会
17日(火)	〃
19日(木)	〃
23日(月)	〃
25日(水)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらっしやいませんか。

●議会を傍聴するには

- (1)開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を開始します。
 - (2)受付で住所・氏名をご記入ください。
 - (3)係員が傍聴席にご案内します。
 - (4)※車椅子等でお越しの方は、リフトのご案内ができます。
- ※車椅子等でお越しの方は、リフトのご案内ができます。
- (4)手話通訳・要約筆記を希望される方は、事前にご連絡ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

意見書 4 件 提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書
- スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書
- 令和元年台風15号及び19号等からの復旧・復興に向けた支援を求める意見書
- 気候危機・気候非常事態を前提とした地球温暖化対策のさらなる強化を求める意見書

議会選出監査委員

議会選出監査委員に欠員が生じたことに伴い、後任者を選任するための議案が提出され、選任に同意しました。

- 監査委員 ^{にかいどう} 二階堂 ^{つよし} 剛

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により、「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。市内在住の障害者手帳(視覚障害)をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

●問い合わせ先

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111
住所 松戸市五香西3-7-1



① 音訳者打ち合わせ



② 朗読を録音



③ 校正・編集



④ CD作成

編集の窓

昨年の台風をはじめとする自然災害により被災された皆さまに改めて心よりお見舞い申し上げます。

令和元年12月定例会では、34人の議員が一般質問に立ち、台風被害等に対する質問が多数の議員から取り上げられ、災害に対する意識がさらに高まったと感じております。

また大型商業施設「キテミテマツド」と「テラスモール松戸」がオープンし、賑わいを見せております。

引き続き、安全安心なまちづくり、松戸市内の活性化のために議員一同、取り組んでまいります。

本年もよろしくお願いたします。

広報委員会

委員長	大塚 健児
副委員長	松尾 尚
委員	ミール 計 恵
	鴈野 聡
	中村 典子
	岡本 優子
	篠田 哲弥
	大谷 茂範
	伊東 裕二
	伊東 英一
	渋谷 剛一
	市川 恵一

※変更があった委員

次回発行予定は5月1日(金)です